

# 宜野湾警察署協議会 議事概要

開催年月日 令和元年10月29日（火）16：30～18：00

開催場所 宜野湾警察署

出席者 協議会委員（9名） 宮城 富夫、森根 清昭、知念 良和、大城 ちえ子  
比嘉 美代子、與那嶺 務、仲村 淳、名城 克巳  
渡名喜 庸松

警察署（13名） 署長、副署長、刑事官、各課長等

## 議事概要

- 1 会長挨拶
- 2 署長挨拶
- 3 第1回警察署協議会（令和元年6月28日開催）における各委員からの提言に対する回答
  - (1) 中城村内県道29号線における交通安全対策について  
警察：当該県道の減速、徐行走行の注意喚起標示をペイントの可否について意見を受けてたことから、現在、道路管理者（県土木事務所）に対して検討依頼・申入れを行っている。
  - (2) 県道34号線（真栄原から大謝名間）における渋滞問題について  
警察：道路管理者（県土木事務所や宜野湾市役所等）と協議した結果、当該区間を二車線へ車線増幅、年度内にバス停の停車スペースの拡張などを行うとの回答を得た。
  - (3) 国道58号北上車線のバスレーン規制時間（夕刻時）における付近道路の危険運転について  
警察：当該規制時間帯に通行車両による集落内へ進入、一時停止や減速をしないなどの危険運転が多いといった意見を受け、警察では当該時間帯の該当地域におけるパトロールや交通違反取締りを重点的に行っている。
  - (4) 暴力団関係者等に関する市民への情報提供について  
警察：「普天間商店街通り会」の発足に伴い、暴力団関係者等の商店街への介入を阻止する対策として、通り会規約への反社会勢力排除の明記や、通り会と会員が反社会勢力排除の誓約書を交わした。  
今後は、反社会勢力とのトラブル防止と違法行為などの情報があれば積極的に、また躊躇せず警察へ通報や相談をお願いしたい。
  - (5) 警察による薬物乱用防止対策について

警察：当署ではFMラジオを活用した広報活動、管内中高生に対する薬物乱用防止教室の開催、広報啓発チラシを配布など、薬物使用の危険性を周知する活動に取り組んでいる。

#### 4 防犯カメラの設置状況の説明

#### 5 協議

##### (1) 防犯カメラの設置について

委員：人通りが少ない不法投棄現場に防犯カメラを設置している。  
最近、様々な事件事故が発生する中、防犯カメラは犯罪の抑止や犯人の検挙など効果的であり、一基でも多くの防犯カメラ設置が必要と考える。

委員：地域の防犯対策として、自治会の建物に防犯カメラを三基設置している。近隣公園の状況もカバーしていることから、広く安心感を持つことができる。

委員：商業施設の管理を担当している。施設では駐車場に防犯カメラを4基設置しているが、将来的には増設を検討したい。

委員：当自治会では、市や関係機関の御協力により多くの防犯カメラを設置してもらった。

防犯カメラによる公共空間の撮影についての反対意見はなく防犯カメラの重要性が浸透している結果だと思う。

委員：自動販売機の内部、又は設置場所付近に防犯カメラを設置することで、自動販売機の被害や付近の事件事故の未然防止となると考える。

設置業者の理解と協力があれば、設置費用の負担等を検討するなどして将来的な増設につながるのではないかと。

委員：防犯カメラは効果としては犯罪の抑止か、犯罪の解決か。

警察：様々なご意見もあるかと思うが一番は「犯罪の抑止・未然防止」だと考える。

委員：花園の花泥棒対策として、ダミーカメラの設置で効果が出た。人感センサーを併用すると、さらなる防犯効果が期待できる。

警察：先程の説明のとおり防犯カメラの効果は「犯罪の抑止・未然防止」である。

他方、防犯カメラの映像が事件の証拠となる場合もあり得るため、録画機能の付加の検討もお願いしたい。

##### (2) 交通事故防止対策について

委員：中城村所在の消防学校入り口交差点の車両の通行方法について、黄色信号点滅と赤色信号点滅のルールが一部順守されていないことが散見され、交通事故の危険性が高まっている。

改善方策として同所の交通信号を押しボタン式信号機へ変更することは可能か。

警察：現地調査するなどして現地調査、実態把握の上、道路管理者である県への改善要望・申入れを検討したい。